

事業計画書

団 体 名		特定非営利活動法人ハーモニークラブ
事 業 名 称		えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業
事業実施期間		(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入	(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) ・日本人の幸福度が低い原因の一つに、自己肯定感が低いと言われている。 (2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) ・親の自己肯定感の低さが子どもに影響することに気づき、子どもだけでなく親や周りの大人も自分を肯定的に捉える機会を提供したいと考えたため。 (3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) ・親や周りの大人は子どもへの肯定的な関わりが不足している。(価値観の負の連鎖) (4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) ・幼少期の人格形成の基礎となる時期に、ありのままの自己を受入れ、他者のありのままも認め合える心の豊かさを育める場をつくる。 ・保育の質の向上や新たな保育の担い手を応援する。
	事業実施期間の視点(単年度)で記入	(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) ・子どもも大人も一緒に楽しみながら、体験を通して自己肯定感を育くみ、「ありのままに生きる」大切さを考えるきっかけにしてもらうことを目的とする。 (6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 ＜枚方市民への効果＞(誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の子どもやその親世代及び保育に携わる人が、えほんライブの音楽や物語に癒され、自分を肯定的に捉える心のゆとりが生まれる。 ・地域交流が促進され、子育ての孤立を防ぎ育児の負担感が軽減できる。 ＜確認方法＞(参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) ・参加者にアンケートを実施し、ヒアリングを行う。

2. 事業内容等	(1) 事業の対象者(例: 枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に) ①えほんライブや体験型活動 ・親子広場 : 枚方市内の幼児と親、保育園児、保育士など教育関係者 ・イベント : 子どもをメインに地域一般の人 ・ボランティア体験講座: 学生やこれからボランティアをはじめたい一般の人 ②保育サロン: 保育士等の教育関係者、子育て支援に携わる人、子育て中の親、学生、保育やえほんライブに興味のある人 (2) 事業の実施場所(移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) ①えほんライブや体験型活動 ・親子広場 : 岡本町会館 おやこ広場とんとんとん ・イベント : 岡本町公園 さくらマルシェ、子ども食堂だよ全員集合 市内の小学校(五常小学校等) おしごとマルシェ ラポールひらかた ひらかた社協ふくしフェスティバル ・ボランティア体験講座: 枚方市内の公共施設 ②保育サロン: オンラインまたは枚方市内の公共施設でのリアル開催 (3) 事業内容 ①えほんライブや体験型活動の無料実施 ・親子広場では、えほんライブ(絵本の世界と音楽の世界が一体となったオリジナル作品で、朗読と歌や音楽、映像など用いたライブ)や体験型活動(音楽活動や工作、体を使った簡単な遊び、ゲーム等)を組み合わせ、親子のふれあい遊びを実施する。 ・イベントでは、えほんライブのステージ演奏や出展ブースで体験型活動を実施する。 ・ボランティア体験講座では、えほんライブとワークショップを組み合わせた講座を開催する。 ②保育サロンの開催 保育や教育についての情報交換、保育現場の課題等について語る場を開催する。えほんライブや保育コンテンツのレクチャーや新規アイデア収集を行う。
3. 実施スケジュール	(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可 ①えほんライブや体験型活動 ・親子広場: とんとんとん(年間5回程度実施) ・イベント : さくらマルシェ(4月)、子ども食堂だよ全員集合(12月)、おしごとマルシェ(年間2回程度実施)、ひらかた社協ふくしフェスティバル(11月) ・ボランティア体験講座: 年間1回程度実施 ②保育サロン: 月1~2回を目安に、年間20回程度
4. 事業実施の体制	(1) 人員体制(実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること) ・パフォーマー及びスタッフ1回あたり2~6名程度配置(正会員、パフォーマー養成講座受講者) ・親子広場やイベント及び保育サロンの外部講師(工作、親子の体や健康、教育分野の専門家)

	(2) 事業対象者の見込み数(例:参加者●名など現時点の想定人数を記入すること) ①えほんライブや体験型活動 ・親子広場:参加者延べ約 150 名 (各回あたり地域親子約 10 組、保育士約 5 名、園児約 15 名) ・イベント:参加者延べ約 350 名 (各回あたりステージ観客約 40 名、出展ブース参加者約 30 組) ・ボランティア体験講座:参加者約 2~10 名 ②保育サロン:参加者延べ約 100 名(各回あたり 1~10 名)
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	(3) その他の体制(寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること) 連携団体:ひらかた子育て支援ネットワーク(とんとんとん、さくらマルシェ主催)、 NPO 法人子ども食堂ファンクラブ(子ども食堂だよ全員集合主催)、 任意団体子どもは未来(おしごとマルシェ主催)、 枚方市社会福祉協議会(ひらかた社協ふくしフェスティバル主催)、 枚方市ボランティアグループ連絡会、枚方市ボランティアセンター (賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること) 財源の確保策として、有料えほんライブ公演の依頼と寄附のお願いを行うとともに、民間助成の活用を検討する。当申請事業以外では、枚方市社会福祉協議会や大和証券、国際音楽の日などの助成金を受け、作品コンテンツの充実や動画配信コンサートなどの広報活動を行っている。 賛同者の確保策として、市内のイベントに参加するとともに、ボランティア体験を積極的に受け入れ活動の理解と継続意欲を促す。
6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	・2020 年度から枚方市 NPO 活動応援基金の支援を受け、保育園の実績作り、親子広場やイベントでの上演、保育サロン等により認知が広がり、有料公演の依頼につながっている。また新しい賛同者も増加した。 ・新たな取り組みとして、おしごとマルシェに参加することで小学生層にも対象を広げて実績作りを行う。これからも、保育に興味のある学生を積極的に受入れ、保育の担い手支援とともに、保育園と学生とをつなぐ役割を目指す。
7. 事業の PR 方法	(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること) 当団体の SNS(ホームページ、LINE@、Facebook、ブログ、Instagram)で情報発信、動画配信で認知の拡大を図る。イベントでのチラシやパンフレットを配布する。
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 <u>有り(申請中を含む)</u> ・ ☐ 無し (本補助金のみ) 助成金等の名称 () 申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和 年 月 頃の見込み)
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	・当団体のえほんライブはオリジナル作品であり、作品の世界観が自己肯定感を育む内容になっていて、作品理解によって肯定感が深まる気づきが得られ、心の安泰を導く道標を示しています。 ・参考資料:パンフレット添付

事業収支予算書

団体名：特定非営利活動法人ハーモニークラブ

補助対象事業の名称：	えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業
------------	---------------------------

事業実施期間：令和6年 4月 ～ 5年 3月

【収入の部】

項 目 ※1	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
枚方市補助金(一般) (A)	300,000	補助金交付申請額（一般寄附）
枚方市補助金(団体) (B)	20,000	補助金交付申請額（団体希望寄附）
自己資金	105,000	会員費、寄附
参加料	30,000	イベントブース参加料 @300×延べ100人(3回程度)
合 計 (C)	455,000	

【支出の部】

項 目	予算額 (円)	内容説明（積算根拠等）
補助 対象 経費	人件費	336,000
		①えほんライブと体験型活動及びボランティア講座(11回程度) 日額@3,000×延べ30人程度+@6,000×20人=210,000
		②保育サロン開催(20回程度) @1,200×延べ50人程度=60,000
		③講師打合せ及びイベント会議参加(11回程度) @1,200×延べ30人程度=36,000
		④印刷文書作成作業及び工作下準備作業(10回程度) @1,200×延べ25H=30,000
	交通費	40,000
		①,③のための交通費(20回程度) @1,000×延べ40人程度=40,000
補助 対象 外 経費	印刷製本費	15,000
		印刷代(チラシ@2000×3種類+パンフレット@3500×2種類)+ コピー(講座資料@140×10部+アンケート@10×60部)=15,000
	謝金	15,000
		講師謝礼@5,000×3件=15,000
	消耗品費	45,000
補助 対象 外 経費		工作用材料費(@1,000×8回程度+@10,000×3回程度)+ 布おもちゃ制作材料費@7,000=45,000
	会議費	2,000
		ボランティア体験講座の会議室使用料@2,000×1回=2,000
補助 対象 外 経費	雑費	2,000
		イベント出展料@1,000×2回=2,000
小 計 (E)	455,000	
補助 対象 外 経費		
小 計	0	
合 計 (D)	455,000	

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。

※3：枚方市補助金(一般)(A)は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)※4：枚方市補助金(団体)(B)は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
(通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)